

## ～H I V内定取り消し訴訟について考える～

皆さんは、このようなニュースを知っていますか？

2017年12月、当時30代の男性が、北海道内の病院の採用面接で病歴を確認した際、H I V感染を告げず、社会福祉士として2018年2月付の採用内定を獲得。その後2018年1月、H I V感染の事実を知った病院側が、「面接で虚偽の事実を述べた」として男性の内定を取り消すといったことがありました。男性はこれを違法として、札幌地裁に提訴。札幌地裁で民事裁判の判決が下されました。

判決の結果や詳細について敢えてここでは触れませんが、これらの背景にはH I V感染に対する偏見に加え、様々な価値・考え方が、このような事案を引き起こしたものと考えます。

「皆さんは、この事実を知り、どのように思いますか？」

「もし、皆さんのところに同じような相談が寄せられたら？」

「もし、これが皆さんの知る職場で起きていたら？」

「その時、あなたはどうか考え、行動しますか？」

ぜひ、職場の同僚や所属機関の他職種、同じ地域の専門職の方々と話し合ってみてください。私達、専門職の価値や倫理、正しい知識や正しい情報とは何か、共に考えてみませんか。

福島労災病院 千葉和義

## ～世界エイズデー街頭キャンペーンに参加して～

令和元年12月1日にアピタ会津若松店にて、エイズについて記載のあるポケットティッシュを配布し、エイズについて正しい知識と関心を持ってもらう啓発活動が行われました。

日曜日でしたので、様々な年代の方への配布ができました。活動中、エイズという単語に驚かれ活動に興味を持って下さった方もおり、学校の授業やメディア以外でも、今回のように直接呼びかけることでより一層関心を持っていただく機会になったのではないかと思います。キャンペーンを続けてきましたが、新成人からは高校生とは異なる反応や関心があることがわかり、今後の啓発活動に活かすことができる大変貴重な体験となりました。



飯塚病院附属有隣病院 佐久間遼